

裁判員経験者との意見交換会の概要

—令和3年10月13日(水)— 金沢地方裁判所

テーマ1
裁判員を経験しての全般的な感想をお聞かせください。



全くと言っていいほど裁判の知識はなかったので、自分のできるのだろうかと不安があったが、実際にやってみて、素人でも分かり易いように説明され、不安なく参加できた。貴重な経験だったと思っている。



書類が届いたときに、戸惑いというか、不安が大きかったが、とても有意義な、人生においてすごく良い経験をさせてもらった。何も知識がない人間が、人を裁くこと、人に罪を問わせるという責任を負えるのか、しっかりと判断ができるのかということが付きまとったが、一人ではないという心強さもあり、よい経験ができた。



選ばれたときは不安しかなかったが、裁判員を経験することで、正直、人を裁くのがこんなに大変なんだと分かり、非常に良い経験ができた。



選ばれたときは不安しがなく、一市民としてその場に合うような意見が言えるだろうかとの不安があったが、裁判官が私の言葉を摘み取って、ほかのメンバーに意見として伝えてもらったので、思ったことを素直に話すことができてよかった。たくさんの情報を全て隅々まで目を通し、真剣に裁判に向き合っ、しっかり考えた結果が判決だと目の当たりにすることで判決の重さを感じることができた。

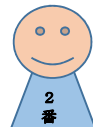


最初通知が来たときは、自分の日程を調整するのに苦戦したが、何とか調整できて参加することができた。実際の裁判が始まってからは、隅々までいろんなことをいろんな方が調べて、答えがないからこの裁判が起こっているのだと目の当たりにできた。



各世代の男女の多種多様な意見が反映されないと裁判員の意味がないのではと思った。視点の違いなどいろんな角度から判断できる状態を作ってもらえ、いろんな意見を聞くことができて大変勉強になった。

テーマ2
冒頭陳述は分かり易かったですか。



資料を分かり易く作ってもらえ、合わせて説明を聞いて、事実関係について理解ができた。難しい言葉も出ていたが、かみ砕いて、分かり易く説明いただき、事件に対して理解が深められたと思う。



国会で質問者がボードを使って分かり易く説明していることが結構あると思う。裁判上できないのかもしれないが、今はデジタル化の時代なので、画面のようなものを使って、デジタル的なもので、見ただけで我々がさらに分かり易いものができるのかなあと思った。

テーマ3
証拠書類の取調べや証人尋問、被告人質問は分かり易かったですか。



専門家証人の話は理解できる部分もあったが、専門的な用語が出てくるとすぐには理解できないこともあった。実験の部分の映像は、分かり易かったが、写真がいっぱい出てきて、長すぎて分からなくなってしまいう部分もあった。



実証実験を見ていなくても、危険性はある程度認識していたが、実際に燃焼実験を見せてもらい、こんなにすごい火が出るというのを間近に見たことは、どうして被告人がこれを使うという考えに至ったのかを考えるうえで非常に参考になった。



専門用語で話をされると、その時は覚えていても、いろいろな話を聞いていくと、後で専門用語がどんなだったか分からなくなってしまうので、専門用語については素人でも分かり易いように、補足でも、文字でもあったらよかったのではと思う。



捜査段階の録音録画の映像音声を再生してもらったことで、文字で書類を見るだけとは違い、声のトーンとか、答えるまでの間によって、この時に何を考えていたのだろうかということも見て取れるので、両方あると判断の材料になりやすいと感じた。

テーマ4

評議について十分に意見を言えたかどうか、評議の時間が適切であったかどうか、進行の方法や説明について工夫、改善点はあるかについて御意見をお聞かせください。



評議において、一つのことに對していろいろな方向から意見が言えるのは、仕事の面でも、生活していく面でもすごくいいことだと思った。
意見が変わることもオッケーと言われていたことで、負担が軽減され、負担には感じなかった。



付せんを使って意見を貼り付けるという手法がとられたが、自分の中での整理にも役立った。すごく分かり易く、端的にいろいろな意見が聴けて、自分の考えが正しいのかどうかと思い直すことができた。
評議の時間は、長ければよいとは言えないが、もう少し考える時間というか、話し合える時間があってもよかったかなあとも思う。



まとまらない意見をまとめてもらったので、その時思ったことを素直に発言できてよかったと思う。
進行についても、これから話し合いすることを一つずつ挙げてもらえ、気を付けることを具体的に教えてもらったので、自分の意見をまとめることに集中できた。



評議においては、年齢層は同じでも、育ってきた環境や、働いている状況も違うので、いろいろな意見が多様にあるなと感じた。「当たり前」という感覚が、皆それぞれ違っていることも体感した。

テーマ5

裁判員として負担に感じた点、負担軽減の点について御意見をお聞かせください。



短い期間で、自分たちの意見で判決で懲役何年と決まったが、被告人の人生を決めることに若干負担を感じた。



悪いことをした人でも、人ひとりの人生を左右するということを考えると、負担が大きいなと感じた。



同じ人間に刑を与えることについて考えないといけないということは、日常ではないので、すごく負担だった。
被告人は暴力団関係者でないことを聞いてはいたが、その根拠は何だろうと気になっていた。できれば関わりたくないと、ちょっと引いたところで考えてしまった。



どっちが悪いとか、悪くないとかで論争をすることが裁判では当たり前なのかもしれないが、それについて判断することがとても負担だった。

テーマ6

裁判員を経験していない一般の方に伝えたいことについて御意見をお聞かせください。



裁判員を経験していない方には、やりたくてもできることではないので、ぜひ積極的に参加してもらいたい。私は、もう一回チャンスがあればやりたいと感じている。



裁判員裁判に参加したことは私自身の人生の中でよかったと思う。いろいろと悩むこともあったが、一人の人のことをみんなで考えて判決を出すことはすごいことと感じた。自分が手を挙げても参加できない状況がある中で、チャンスをもたらした方にはしっかり受け止めて、参加してもらいたい。参加に不安のある方も、サポート面でも配慮されているので、安心して参加いただきたい。



ネットやニュースで極論的な意見を言う人が多いので、裁判員を経験し、いろんな観点から見ることを経験して、自分の価値観や考え方を改めてみるのもいいことだと思う。



私は、参加するまでに色々と下調べせずに参加したが、送られたパンフレットを見たり、ネットの動画などで調べるなど、自分が具体的にどんなことをするのかを下調べしておけば、主体性を持って参加できると思う。



いろいろな人の意見を聞くことで、自分も勉強になったし、人の意見を聴くようになった。